

防災士と学ぶ避難所生活体験



実施
学校名

調布市立富士見台小学校

日時

令和6年10月22日（火）

場所

体育館

プログラム 概要

- ・防災士から災害発生時の様子や避難所で必要となる防災グッズについて説明がありました。チーム内で何をどのように活用するかを話し合い、避難時の生活についての理解を深めました。
- ・乳児や障害のある方など、様々な人が集まる避難所での生活を想定して、実際に避難ブースを組み立て、必要な防災グッズを選ぶことで、共助の心を身に付けました。

体験 風景

1 状況設定



はじめに、合理的な配慮を必要とする人がいることも考えて避難ブース設営を行うよう説明がありました。また、災害発生時の状況として、「晴れた秋の朝」が設定されました。

2 防災グッズ体験



児童は、会場内に設置されたブースで、防災食やヘルメット、防災用シート、防災トイレなど、避難所で必要となる防災グッズの使い方を教わりました。

3 避難ブース設営



与えられた状況設定に対応できるように、チームのメンバーと一緒に考えながら、必要な防災グッズを選び、避難ブースを設営しました。

4 発表



避難ブース設営と防災グッズ選びでの工夫や配慮をしたことをチームごとに発表しました。他チームの発表を聞いたり、振り返ったりしたことで、児童の学びが、一層深まりました。

参加した 児童の声・ 反応

- ・耳の不自由な人のためのブースを作りました。友達と話し合って5つの道具を選んだけど、他にも呼び出し装置や振動式目覚まし時計など、必要なものがたくさんあると思いました。
- ・災害が起きたときのために、防災グッズを備えたり、ハザードマップを見直したりしたいです。川の近くに住んでいるので、家族で日頃から避難時の行動について話し合いたいです。
- ・避難するときのために道具を準備することも大切ですが、準備しても使い方が分からなければ意味がないので、今回使い方が知れてよかったです。